

## I. 目的

Bio-T B原液消臭液の抗菌性を検査する。

- 被実験材料-
- テスト実施機関-
- ・財団法人京都微生物研究所

### 実験方法

試供品（121度C・15分湿熱滅菌したもの）のMIC(最小発育阻止濃度)を測定する。抗菌製品技術協議会「最小発育阻止濃度測定法I(2003年度版)液体培地希釈法によるMIC測定法」準拠

試用培地:Mueller Hinton Broth(BBL)  
使用菌株:Staphylococcus aureus

平成16年11月24日に当研究所に提出された試供品について試験した結果、下記の通りであることを証明します。

財団法人 京都微生物研究所 印  
検査責任者 松田

## II. 実験結果

| 試供品名  | MIC(ppm:v/v) |  |  |
|-------|--------------|--|--|
|       | St. aureus   |  |  |
| Bio-T | 2000         |  |  |
|       |              |  |  |
|       |              |  |  |

## III. 考察

MIC値は、細菌の増殖を阻害するための抗菌物質の必要最小量のことですが、この数値が低いほどその菌に対する抗菌効果がある事になります。塗布することで、細菌の繁殖を抑える効果があります。そのことで臭いの発生を予防します。Bio-Tは、2000ppmなので天然抽出物質としては、上位の抗菌効果を持った物質といえます。